

高齢者用肺炎球菌の予防接種を受けるにあたっての注意

1 一般的注意

高齢者用肺炎球菌の予防接種について、気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に医師や市保健センターに質問しましょう。十分に納得できない場合には、接種を受けないでください。

予診票は接種をする医師への大切な情報です。医療機関に準備していますので、接種前に接種を受ける方が責任をもって記入するようにしましょう。質問事項等は代理の方でもかまいませんが、最後の被接種者署名は、接種を受ける方ご本人で署名をしてください。どうしてもご自分で署名ができない方は、代筆者が被接種者の名前を記入し、代筆者の氏名及び被接種者との続柄を記載してください。

2 予防接種を受けることができない人

- ①明らかに発熱のある人（体温が37.5℃を超えている場合）
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
急性の病気で薬を飲む必要のあるような人は、その後の病気の変化が分からなくなる可能性もあるので、その日は見合わせるのが原則です
- ③その他、医師が不適當な状態と判断した場合

3 予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなくてはならない人

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などで治療を受けている人
- ② 今までにけいれんを起こしたことがある人
- ③ 今までに中耳炎や肺炎などによくかかり免疫状態を検査して異常を指摘されたことのある人

4 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ① 予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ② 入浴は差し支えありませんが、わざと注射した部位をこすることはやめましょう。
- ③ 接種当日はいつも通りの生活をしましょう。激しい運動や深酒は避けましょう。

※特に強い副反応が起こった場合は、接種医のもとで必ず診察を受けてください。

そのほか、分からない時は、大川市保健センターへ連絡してください（☎86-8450）。